

【2022 年度相談援助演習面接授業（スクーリング） 答案（レポート） 課題一覧】（受講者用）

■相談援助演習Ⅰ（科目コード 132） 提出締切 8 月 1 日（月） 消印有効 【各講師】

◎重要 課題名の欄に必ず演習担当講師名を記入すること

次の3つの面接授業レポート課題の中から、1つ課題を選び、1,000 字以上 1,200 字以内で所定の答案を用いて論述しなさい。

課題 1 『ソーシャルワークの価値・知識・技術』の特徴と重要性

面接授業を受講し、またテキスト第 9 巻『社会福祉援助技術論Ⅰ（ソーシャルワークの基盤と専門職）』第 1 章～第 2 章をよく読み、「ソーシャルワークの価値・知識・技術」の特徴と重要性を記述しなさい。

課題 2 『自己覚知』についてテキストおよび演習で学んだこと

面接授業を受講して、またテキスト第 10 巻『社会福祉援助技術論Ⅱ（ソーシャルワークの理論と方法）』第 4 章第 1 節・第 2 節をよく読み、「自己覚知」について、あなたが学んだことを記述しなさい。

課題 3 『グループダイナミクスの活用』についてテキストおよび演習で学んだこと

面接授業を受講して、またテキスト第 10 巻『社会福祉援助技術論Ⅱ（ソーシャルワークの理論と方法）』第 3 章第 2 節をよく読み、「グループダイナミクスの活用」について、あなたが学んだことを記述しなさい。

■相談援助演習Ⅱ（科目コード 133） 提出締切 9 月 15 日（木） 消印有効 【各講師】

◎重要 課題名の欄に必ず演習担当講師名を記入すること

次の3つの面接授業レポート課題の中から、1つ課題を選び、1,000 字以上 1,200 字以内で所定の答案を用いて論述しなさい。

課題 1 『ソーシャルワークの過程』についてテキストおよび演習で学んだこと

面接授業を受講して、またテキスト第 10 巻『社会福祉援助技術論Ⅱ（ソーシャルワークの理論と方法）』第 1 章・第 2 章をよく読み、「ソーシャルワークの過程」について、あなたが学んだことを記述しなさい。

＊ご説明 演習Ⅰでも「ソーシャルワークの過程」を扱いますが、演習Ⅰでは主に理論面からの内容、演習Ⅱでは「相談援助事例等を活用し相談援助場面及び相談援助の過程を想定した実技指導」となり実践的な内容となります。レポート課題としては演習Ⅰと演習Ⅱの両方の授業を踏まえ、演習Ⅱで出題する形になっています。

課題 2 『面接技法』についてテキストおよび演習で学んだこと

面接授業を受講して、またテキスト第 10 巻『社会福祉援助技術論Ⅱ（ソーシャルワークの理論と方法）』第 4 章第 1 節をよく読み、「面接技法」について、あなたが学んだことを記述しなさい。

課題 3 『総合的かつ包括的な援助』についてテキストおよび演習で学んだこと

面接授業を受講して、またテキスト第 10 巻『社会福祉援助技術論Ⅱ（ソーシャルワークの理論と方法）』第 1 章第 1 節をよく読み、「総合的かつ包括的な援助」について、あなたが学んだことを記述しなさい。

■相談援助演習Ⅲ（科目コード 148） 提出締切 8月1日（月）消印有効 【植田寿之先生】

次の3つの面接授業レポート課題の中から、1つ課題を選び、1,000字以上1,200字以内で所定の答案を用いて論述しなさい。

課題 1 『ソーシャルワークのアプローチ』特徴・課題・今後の自身の活用について

面接授業で学んだソーシャルワークのアプローチの中から1つを選び、そのアプローチの特徴や課題と、それを今後、あなたがどのように活用していくかを記述しなさい。（テキスト第10巻『社会福祉援助技術論Ⅱ（ソーシャルワークの理論と方法）』第3章第1節を参照すること）

課題 2 『ソーシャルワークのアプローチを組み合わせる意義と留意点』について

ソーシャルワークのアプローチを組み合わせる意義と留意点について、複数のアプローチを取り上げたうえで記述しなさい。（テキスト第9巻『社会福祉援助技術論Ⅰ（ソーシャルワークの基盤と専門職）』第4章第3節、テキスト第10巻『社会福祉援助技術論Ⅱ（ソーシャルワークの理論と方法）』第3章第1節を参照すること）

課題 3 『ソーシャルワークにおけるストレングス視点』の重要性と課題について

ソーシャルワークにおけるストレングス視点の重要性と課題について、ソーシャルワーカーの立場から記述しなさい。（テキスト第9巻『社会福祉援助技術論Ⅰ（ソーシャルワークの基盤と専門職）』とテキスト第10巻『社会福祉援助技術論Ⅱ（ソーシャルワークの理論と方法）』の「さくいん」を使って、ストレングス、ストレングスアプローチ、ストレングスモデルを検索し参照すること）

■相談援助演習Ⅳ（科目コード 149） 提出締切 9月15日（木）消印有効 【各講師】

◎重要 課題名の欄に必ず演習担当講師名を記入すること

（集合コースの受講者） 次の2つの面接授業レポート課題の中から、1つ課題を選び、1,000字以上1,200字以内で所定の答案を用いて論述しなさい。

（Zoom コースの受講者） レポートは全員「課題2」を選び1,000字以上1,200字以内で所定の答案を用いて論述しなさい。

なお「事前レポート課題」（学習の手引P42 参照）については演習Ⅳの受講前に1,000字以上1,200字以内で所定の答案を用いて作成し、「課題2」のレポートと一緒に提出しなさい。

*Zoom コースの方の演習担当講師名は全て【永田先生】

課題 1 『メゾ・マクロレベルのソーシャルワーク』について

メゾ・マクロレベル（集団、組織、地域、政策等）を対象とするソーシャルワークについて、面接授業で気づいたことと、それを今後、あなたが実践場面でどのように活用していくかを記述しなさい。（テキスト第8巻『地域福祉論（地域福祉と包括的支援体制）』第1部第2章・第6章、テキスト第10巻『社会福祉援助技術論Ⅱ（ソーシャルワークの理論と方法）』第1章第1節・第3章を参照すること）

課題 2 「包括的な支援」について

具体的な事例（実際の事例でもテキストの事例でも構わない）を挙げて、これからあなたがソーシャルワーカーとして、包括的な支援体制の中でどのような役割を果たしていきたいか、面接授業で学んだことも踏まえて記述しなさい。（包括的な支援体制の中での役割については、テキスト第8巻『地域福祉（地域福祉と包括的支援体制）』第2部第2章の図 2-2-2 を参照すること）

「事前レポート課題」（*Zoom コースの受講者の方のみ）

テキスト第8巻第2部第2章の18の事例のうち、一つもしくは複数の事例を取り上げて、取り上げた事例と包括的な支援体制との関係を明示したうえで（テキスト第8巻第2部第2章の図 2-2-2 を参照すること）、事例から学んだ包括的な支援体制において求められるソーシャルワークの役割を説明しなさい。

■相談援助演習Ⅴ（科目コード 150） 提出締切 9 月 15 日（木）消印有効 【各講師】

◎重要 課題名の欄に必ず演習担当講師名を記入すること

次の2つの面接授業レポート課題の中から、1つ課題を選び、1,000字以上1,200字以内で所定の答案を用いて論述しなさい。

課題 1 『相談援助演習で学んだことを社会福祉士として活用すること』について

相談援助演習（面接授業全体）を通して学んだことを、将来、自分が社会福祉士としてどのように活かすことができるか記述しなさい。

課題 2 『スーパービジョンの方法』についてテキストおよび演習で学んだこと

面接授業を受講して、またテキスト第10巻『社会福祉援助技術論Ⅱ（ソーシャルワークの理論と方法）』第4章第2節をよく読み、「スーパービジョンの方法」について、あなたが学んだことを記述しなさい。